

島根大学医学部地域医療支援学講座内



えんネットについて

しまね地域医療支援センターの委託を受け、このたび島根大学医学部地域医療支援学講座内に両立支援の相談窓口「えんネット」が設立されました。育児、介護などのライフイベントなどで働き方に悩みを抱えている方々がキャリアを継続できるよう支援いたします。

また、「働き続けたい」という意識を育てるために、学生時代からのキャリア教育や、すべての医師の働きやすい職場を目指した、就労環境支援、託児等に考慮した両立支援等を行っていきます。



目次

1.キャリア教育

- 1) 男女共同参画講義
- 2) ランチョンセミナー
- 3) キャリアモデルを探しに行きませんか

2.就労環境支援

- 1) 医療従事者支援担当者研修会
- 2) 働きやすい病院づくり研修会
- 3) 医師事務作業補助者研修会
- 4) 先進地視察
- 5) 研修会支援
- 6) 研究・発表

3.両立支援

- 1) えんネット相談窓口
- 2) 託児つきセミナー
- 3) 意見交換

4.平成 26 年度の事業を終えて

1. キャリア教育

1) 男女共同参画講義

日時: 平成 27 年 2 月 27 日(金) 12 時 45 分～17 時 45 分

場所: 島根大学医学部臨床大講堂

対象: 医学部 4 年生 116 名

キャリアについて考える

グループワーク「妻の海外留学について」

妻の海外留学について、男女混合の 7～8 名のグループに分かれてディスカッションを実施しました。

case

夫は部活の先輩で、卒後島根で結婚しました。子どもが生まれ、実家がお互い遠いため、協力しながら子育てと仕事の両立を目指しています。自分は外科系のある診療科にすすみ、後期研修も順調で、専門医を取得しました。さらに、専門を深めるため、ある手術の技術を身につけたいと思い、上司に相談したところ、その専門であるアメリカの教授を紹介してくれて、半年ぐらい留学してもいいというてもらえました。子どもはまだ 3 歳です。国外に長期間いくことは想定していなかったのですが、若いうちに留学もしてみたいと思います。さて、どうしますか？

子供を置いて留学する、両親についてきてもらう等、色々な意見がでましたが、留学をあきらめるという意見は少数でした。ディスカッションの中で、これが「夫の海外留学について」というテーマだったら、悩まずに行くだろうという意見があがったグループもあり、議論の過程で様々な事を考えさせられる機会になったと思います。



キャリアモデルの紹介

- ・島根大学医学部発生生物学講座 助教 小川 典子 氏
- ・島根大学医学部小児科学講座 准教授 福田 誠司 氏
- ・出雲市立総合医療センター消化器内科 医長 結城 美佳 氏



まとめの講義

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授 蓮沼 直子 氏

島根大学医学部の WLB 支援室の取り組み

島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室長 秦 美恵子氏

島根県の取り組み

島根大学医学部地域医療支援学講座 特任助教 日高 美佐恵 氏

講演会

「女性医師活躍への期待—多様な活動を支援する—」

島根県医師会常任理事 白根 一 氏

医学部におけるキャリア教育に先進的な取り組みを行っている、秋田大学医学部総合地域医療推進学講座准教授 蓮沼直子先生をお招きし、島根大学医学部において初めて、男女共同参画講義を行いました。前半の「キャリアについて考える」部では、グループワーク、キャリアモデルの紹介、蓮沼先生の講義を通して、生活で起こりうるイベントをどのようにクリアしてキャリアを継続していくかという事、それは三者三様で間違いはないということを学びました。後半には島根大学医学部附属病院のワークライフバランス支援室、島根県、島根県医師会の取り組みについて学び、グループワークでの議論や講義全体を通して、「男女に関わらずキャリアを継続していくことの必要性」について考えるきっかけになったと思われます。

2) ランチョンセミナー



地域医療支援学講座では「自分のキャリアプログラムから学生さんに伝えたいこと」をテーマに1回/月、昼食をとりながら昼休みを利用したセミナーを実施しています。卒業生の先生方に、卒後から現在までのキャリアや、思いを語っていただく事で、学生のモチベーションの向上や、将来のビジョンを描ききっかけになる事を期待しています。

3) キャリアモデルを探しに行きませんか？

医学生のみなさん

**キャリアモデルを
探しにいきませんか**

島根でがんばる医師のもとで実習を行い
自分の将来像を探してみませんか？

【実施時期】原則として長期休暇に希望する期間（平日2日程度）
【実習医療機関】受け入れ可能な島根県内の医療機関
【旅費】交通費、宿泊費を支給いたします

申し込み先
地域医療支援学講座
TEL: 0853-20-2558
E-mail: career@med.shimane-u.ac.jp

医学生に対し、自分の将来のキャリアについて考えてもらうきっかけを作ることを目的に、医師密着型の実習を支援しています。

実習での1日

保育園に次男を送り → 午前外来 → 保育園で
次男を迎え → 幼稚園で長男を迎え → 買い物
→ 帰宅しおやつ、子供達を風呂に入れ
→ 勉強会に参加 → 懇親会

参加した学生の感想

将来に対し、漠然とした不安を抱えていましたが、実際の先生の生活を見せていただいて、不安を拭い去ることができました。

2. 就労環境支援

1) 医療従事者支援担当者研修会

日時:平成 26 年 9 月 10 日(水) 13 時～16 時 30 分

場所:ニューウェルシティ出雲 百合の間 (出雲市塩冶有原町 2-15-1)

参加者:55 名

公開講座

「医師として輝き続けるために」 ～21 世紀キャリア支援・男女共同参画を考える～

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授 蓮沼 直子 氏

秋田県でのキャリア支援は

- ・離職した女性医師の復帰支援
- ・継続してキャリアを積むための支援
- ・医学生に対する男女共同参画
- ・キャリア形成に関する教育

が柱とされている。医師になってキャリアを継続させるためには、医学生時代からのキャリア教育が非常に重要であること、個々人がキャリアを継続したいと思えるように支援し、障壁となるものを取り除いていく事が重要であるという内容でした。



事例報告

「浜田医療センターにおける医師事務作業補助者について」

国立病院機構浜田医療センター 医療クラークリーダー 田中 加奈子



島根県内で医師事務作業補助者の活用について先進的に取り組んでおられる、浜田医療センター医療クラークリーダー 田中加奈子氏に、ご報告いただきました。浜田医療センターにおける、医師事務作業補助者は組織化されており、医師の事務業務の多くを担っておられる内容に刺激を受けた施設も多かったようです。

「飯南病院の現状」～看護師として働くこと・生活すること～

飯南町立飯南病院

看護部長 小玉 千恵



島根県内の医療機関の現状報告ということで、飯南病院看護部長 小玉 千恵氏にご講演いただきました。飯南町の生きがい村構想をはじめ、子育て世代を多く抱える看護職の課題等をお話いただきました。

グループワーク

行政、医師・看護師、医師事務作業補助者といった職種ごとのグループに分かれてもらい、当日出た課題について、それぞれディスカッションを行ないました。

今回の研修会の前半の部では、秋田大学より蓮沼直子先生をお招きし、秋田県での先進的な取り組みである、キャリア支援についてご講演いただきました。医師支援において、個々人のキャリア支援が非常に重要であることをお話いただきました。後半では県内での各病院の取り組みとして、飯南病院での現状及び、医師事務作業補助者の育成に力を入れている浜田医療センターでの現状を報告していただきました。他の病院の現状や、取り組みについて知ること、各施設の現状を振り返っていただけたのではないかと思います。



2) 働きやすい病院づくり研修会

日 時:平成27年1月27日(火)

場 所:ニューウェルシティ出雲 (出雲市塩冶有原町2-15-1)

講演会

医師「ジョブシェアリングシステム」から「プラス One システム」へ

～短時間正社員制度活用による医師復職支援の推進～

社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 顧問 岩崎滋樹



今年度の「働きやすい病院づくり」は、より多くの管理者の方に聴講していただくために、島根県病院協会職員研修会にあわせて、開催いたしました。各医師がどんな仕事をしたいと考えているのか、意見に耳を傾け、医師の数を増やしていった病院づくり、更に、産休、育休後の女性医師が、将来的に常勤に戻るために、制約がある中で、当直等の一定の負荷をかけながら、働き続けられる勤務体制についての試みもうかがいました。島根でも十分に生かせる取り組みであると思います。

3) 医師事務作業補助者研修会

日時: 2月3日(火) 13:00~16:00

場所: 島根大学医学部みらい棟 4階 ギャラクシー

参加者数: 62名

講演

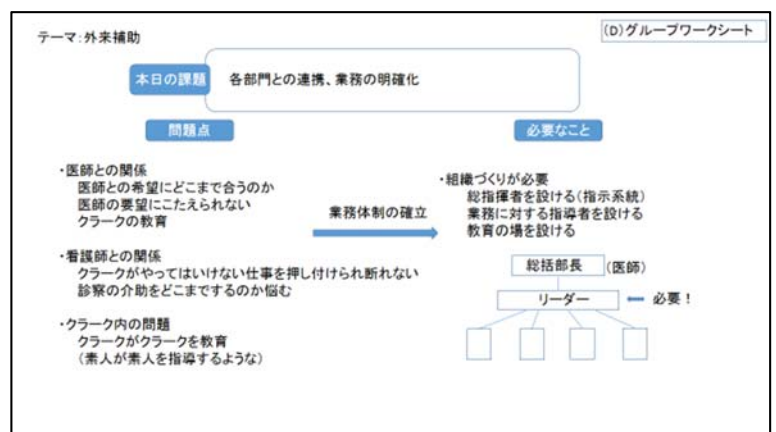
「医師事務作業補助者に期待すること」

島根大学医学部小児科学講座 准教授 福田 誠司先生



グループワーク

- ① 文書作成について
- ② 外来診療補助について
- ③ 症例登録・データ収集について
- ④ 他業種との業務分担について



今回この研修会が開かれた事の発端は、平成26年9月10日に行われた、医療従事者支援担当者研修会でした。浜田医療センターの医療クラーク田中 加奈子様に発表していただき、充実した業務内容に驚きを感じるとともに、まだまだ新しい職種であり、横のつながりが全くないことも分かりました。そうして、島根県で医師事務作業補助者のつながりをつくるために、研修会を開催することになりました。島根県内全域から、医師事務作業補助者46名、見学者も含め、62名の参加がありました。グループワークでは周囲の理解が不十分であること、組織化されておらず、業務改善にも壁があること等、さまざまな施設が、同様の悩みを抱えながら、医師とコミュニケーションに四苦八苦し、医師の仕事を補助し、医療を懸命に支えている姿を垣間見ることができました。医師事務作業補助者の皆様の今後のさるなる活躍と発展に期待しています。

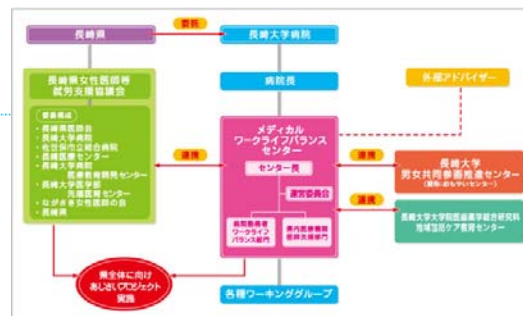
4) 先進地視察

長崎大学病院メディカルワークバランスセンター

日時:平成 26 年 10 月 27 日(火)

復職・WLB 支援について

- ① 復職・リフレッシュトレーニング
- ② 潜在医師調査:
- ③ 病院長命で各医局長に対し WLB の推進員の配置を指示。主に、セミナー等の開催の掲示と呼びかけ。対象医師との相談等。
- ④ 各医局に訪問。(訪問者:長崎県医師+センター医師+事務)



託児について(イブニングシッターなど)

17時以降のセミナーや、医局会等に参加する際に託児を頼むことができる。また学外の方も利用可能。

保育サポートシステムについて

- ① 長崎県医師会保育サポートシステム
- ② サポーター数:35 名(現在)、利用者:4 名(申し込み 8 名)、利用料 1,000 円/時間
- ③ サポーター側の受け入れ状況次第で、病児も可能

長崎県では大学病院が県の委託をうけて、事業に取り組んでおり、医師会も共同で、学生教育、ファミリーサポート制度などの育児支援を行っていました。実際に地域の医療機関へ赴いて訪問取材し、HP で紹介するなど特徴的な取り組みが実施されていました。県、大学病院、医師会が垣根を越えてひとつの事業に取り組んでいるのが印象的で、島根県でも一枚の絵を描き、お互い協力を得ながら取り組んでいきたいと思わせる内容でした。

5) 研修会支援

「えんネット」では、就労環境について、職場全体で考えていただく機会を作ることを目的として、就労環境改善に関連する講師等を招いて、研修会を開催した場合には、講師謝金、旅費等を一部支援しております。申請は各圏域又は、施設単位でお願いしています。

今年度の実施例

雲南市立病院

「就労環境改善講演会」

日時:平成 27 年 2 月 27 日(金)18 時～19 時

場所:雲南市立病院 4階大会議室

参加者:院内59名、院外14名、合計73名

「若手医師の立場から考える就労環境改善」

千葉大学予防医学センター特任研究員 長嶺 由衣子 氏



6) 研究・発表

日本医学教育学会大会 【参加・ポスター発表】

日時:平成 26 年 7 月 18 日(金)・19 日(土)

場所:和歌山県立医科大学

「島根県のワークライフバランス支援に関する調査結果から見てきたもの」

地域医療支援学講座 特任助教 吉岡みち子 氏

3. 両立支援

1) 相談窓口



「えんネット」 <http://www.en-net.jp/> では現在の働き方に悩みを抱える方のための相談窓口を設置いたしました。個々に応じた復職への相談等を受け付けています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

今年度(2014.8月～)相談件数 6件

2) 託児付きセミナー

「えんネット」では、託児付きセミナーを支援しています。

民間の託児施設と協力して、親は安心してセミナーを受講していただき、また子供も楽しく過ごせる託児を目指していきます。

セミナー支援

認知行動療法

日時: 平成27年2月14日(土)14時～17時

会場: 松江テルサ

講師: 慶應大学医学部クリニカルリサーチセンター

特任講師・臨床研究教育研修室長 中川敦夫



シミュレーション研修



島根大学医学部附属病院スキルアップセンターと協力し、シミュレーション研修を支援しています。通常プログラムで利用できないかたは随時相談を受け付けています。

3)意見交換会

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会

日時:平成 26 年 9 月 26 日 14:00～16:00 会場:日本医師会館 大講堂

1. 日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて
2. 事例発表:①長崎の取り組み ②奈良県立医科大学の取り組み
③東京医科大学の取り組み ④全国医学部におけるワークライフバランスの取り組み

島根大学医学部内女性医師意見交換会

1 回目:平成 26 年 6 月 24 日 15:00～16:00

2 回目:平成 26 年 10 月 21 日 14:30～16:00

島根大学男女共同参画意見交換会

日時:平成 26 年 11 月 14 日 場所:島根大学男女共同参画

島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室会議

1 回/月

株式会社アイگران聞き取り調査

日時:平成 26 年 10 月 16 日

目的:島根県内の現在の院内保育・病児・学童保育の現状確認及び、他県での取り組みについての情報収集

いずもファミリーサポートセンター聞き取り調査

日時:平成 26 年 12 月 8 日

目的:出雲市のファミリーサポートの状況、病児等の対応を確認し、県内での必要性を検討する

4. 平成 26 年度の事業を終えて

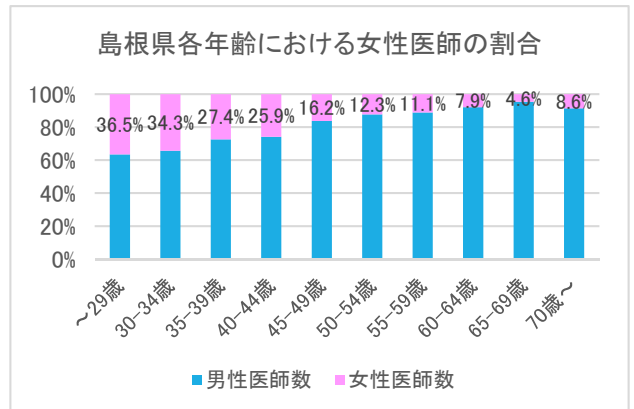
現在の島根県の状況

平成 24 年度の医師歯科医師薬剤師調査によると、島根県における各年齢における女性医師の割合は全国とほぼ同程度です。医師国家試験における合格者の男女比は 3 割を超え、島根大学医学部においては学年により 4 割を超える学年もあります。全医師に対する女性医師の割合は現在約 2 割程度ですが、今後は益々増加していくことが予想されます。その中で女性医師が働き続けることは現状の課題であり、個々人が将来のキャリアプランを描き、ステップアップして行く事が重要であると考えられます。

各役職の男女比を全国（日本医師会調べ）と島根大学医学部（附属病院含む）で比較しました。医療界においてはまだまだ男女共同参画がすすんでいるとは言えませんが、先進的な取り組みを行っている大学では、ポジティブアクションをとっている所もあります。そういった将来を踏まえても、女性個々人がキャリアについてしっかり向き合っていく必要があると考えます。

今後の展望

そのためにも、学生時代からのキャリア教育の必要性は兼ねてから強調されており、今年度は新たに島根大学医学部において、男女共同参画講義を開催いたしました。グループワーク、キャリアモデルの紹介を通して、男女学生ともに、自分の将来について目を向けるきっかけになった事を期待しています。キャリアに向かい、男女ともに働き続けるための環境を整備するために、今後も「えんネット」では就労環境支援、育児、介護等の両立支援を行っていきたいと考えています。今後ともご指導、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



平成 24 年度の医師歯科医師薬剤師調査

島根大学医学部における女子学生の割合

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
在学学生総数	110	107	127	116	111	85
うち女性数	40	49	50	42	49	25
女性割合(%)	36.4	44.5	45.5	38.2	44.5	22.7

平成 26 年 4 月 1 日現在

